

先週のマーケット動向(4月17日～4月21日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,305.0	1,332.3	1,305.0	1,328.2	+29.3
JPY/KRW	9.7577	9.9401	9.7630	9.9305	+0.127
KOSPI	2,570.30	2,582.23	2,532.32	2,544.40	▲27.09

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は上昇。17日のドル/ウォン相場は週安値となる 1,305.0 ウォンでオープン。前週末に米期待インフレ率の上昇を受けた FRB による金融引き締め局面の継続が意識された結果、堅調推移。18日も海外時間でドル買いとなったことから上昇した。19日の日中は材料乏しく小動きも終盤に発表された英 CPI が予想以上に上昇すると、米・欧インフレ長期化が意識され一段とドル/ウォンは上昇した。20日には昨年11月以来の水準となる 1,332.3 の高値を記録。その後 1,320 レベルを割り込んで下落する場面があったものの、21日には再び上昇。韓国の輸出不振が継続しているとのヘッドラインがウォン売りを誘った。結局、ドル/ウォンは先週対比 29.3 ウォン上昇した 1,328.2 ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。3月にテーマとなった金融不安が沈静化しつつあり、新たな材料に乏しい中で相場は金利差など金融政策に沿った推移。米長期金利は底堅く推移しており、ドルは堅調推移。一方で、先週末発表された統計では韓国の4月最初の20日間での輸出額は前年比11%の減少を記録。輸入額も減少したものの、貿易赤字は拡大傾向を示した。輸出産業の回復までには、今少し時間を要するとみられ、ウォン買い実需の弱さもドル/ウォン相場の上昇をサポートする材料となろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1310 ~ 1340	9.75 ~ 10.05	133.0 ~ 136.0

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 25日(火) 米 4月 カンファレンスボード消費者信頼感指数
- 米 3月 新築住宅販売件数
- 韓 1Q GDP 一次速報
- 26日(水) 米 3月 耐久財受注 速報値
- 27日(木) 欧 4月 消費者信頼感指数 確報値
- 米 1Q GDP 一次速報
- 28日(金) 米 4月 ミシガン大消費者マインド指数 確報値
- 日 3月 鉱工業指数 速報値
- 日 4月 東京都区内CPI
- 日 3月 失業率
- 米 3月 個人所得
- 米 3月 個人消費
- 日 BOJ 政策金利発表
- 欧 1Q GDP 速報値